

志布志市立
伊崎田小学校

学校だより
4月号

令和6年4月30日発行



伊崎田学園に関わる「ヒト・モノ・コト」は、どこかつながっていて、子どもたちの幸せを願っている。そんな思いからのキャッチフレーズ「いつもつながる。」です。

すべての子どもたちにとって 「今日が楽しい！ 今がときめく！」 伊崎田学園でありたい

今から15年前に、教え子を水難事故で亡くしました。6年生でした。自分が監督をしていたドッジボールクラブのメンバーだったのですが、事故の1週間前の大きな大会で、彼をコートに立たせてあげることができませんでした。それでも彼はいつも一生懸命でした。亡くなる前日の練習で、いつもと違う姿を見せ「これなら次からはいけるかもしれない。」そう思ったことが今でも忘れられません。そして、その日から教師として、ひとりの人間としてあることに悩み続けています。

「彼のドッジボール人生は、幸せだったのだろうか」
学校というところは、「将来に（大人になることに）備える」という面があるのは間違いありません。ですが、時に「〇〇しないと中学校に行ったときに、大人になったときに困るよ」という言葉が使われます。私自身も確かに心当たりがありますが、振り返るとそんなに大事だったのかなと思います。それ以上に「今、その時」が犠牲になりすぎていなかったかと。もうすぐ55才を迎えますが、「〇〇しないと（すると）老後困るよ」という感覚は、十分感じております。では、私たちは一体いつ未来を恐れず、今を幸せに生きるのか、そう思うてしまうことがあります。

学校が子どもたちに提供したい幸せは、大きく2つあります。
「何かを獲得する幸せ」と「周りの人といっしょになって喜ぶ幸せ」です。
このふたつをそろえて「ウェルビーイング」と呼びます。伊崎田学園で最も大切にしたい子どもたちの姿です。全ての学校での活動はこの「ウェルビーイング」につながります。ですから学校は「勉強するところ」であり、「友だちとなかよくするところ」なのです。伊崎田小で1日の長い時間を過ごす子どもたちに「今を幸せに生きて欲しい」と願います。そのために大切だと私が考えていることは、「自己判断・自己決定」です。自分で決断したことは、例えそれが「失敗」と思われても本人は納得するものです。そして、その失敗を次につなげようとしています。私たちが子どもに身に付けて欲しい力のひとつ「挑戦力」につながります。そしてそれは、「自己肯定感」にもつながります。「自分で決める」ことの連続は、「失敗」は生み出しにくいのです。

令和6年度の伊崎田小は、この「自己判断・自己決定」の場面を多く創っていきたいと思っています。とりわけ学習面です。「自分が今、どうしたいのか、何を学びたいのか」そんな子どもたちの姿を追い求めます。40分授業で5分少ない時間は、毎日午後から30分のイサキダタイムとして設定しています。このような時間です。

子どもたちがそれぞれの興味・関心や学習進度に応じて、教科や、学習内容、形態を選択・判断・決定・実行し、学び合う時間

このような子どもたちの学びの姿の実現に向かって、令和6年度は、スタートしました。応援してください。
(校長 大山昭二)

伊崎田学園入学式

4月8日(月)伊崎田学園小中合同の入学式が行われ、8名の小学1年生と17名の中学1年生が入学しました。今年度は、多数の来賓をお迎えし、在校生も参加し、新入生を迎えることができました。新入生は、ちょっと緊張していましたが、これから学校に慣れ楽しい学校生活がおくれるように、全職員で見守り、育てていきます。登下校時など、地域での見守りをよろしくお願いいたします。



5月の行事予定

- 7日(月) スケッチ大会週間(～24日)
- 生活リズム定着度調査(～14日)
- 10日(金) がんがら号来校
- 11日(土) 土曜授業日
- 体力・運動能力調査
- 26日(日) 伊崎田大運動会
- 27日(月) 振替休日
- 28日(木) 3・4年一日遠足
- 29日(水) 1・2年一日遠足
- 29日(水) プール掃除
- 30日(木) 租税教室

伊崎田小職員

全職員で全児童を見守り・育てていきます。

校長	大山 昭二
教頭	大野 直人
低学年チーム チャレンジ	永田 由紀子
	和田 梨恵
	荷掛 英子
中学年チーム スタディー	瀬戸山 泉生
	田代 皓亮
	小田 ひとみ
高学年チーム 音楽専科 外国語専科	大樂 望友
	内園 和高
	西村 瑞子
	山下 真司
	濱田 優花
支援チーム 養護教諭 事務主査 学校助手 司書補 特別支援教育支援員	前原 一陽
	東 桂子
	石坂 直子
	隈元 祐子

転入職員紹介 よろしくお願ひします！



天城町立岡前小学校
与名間分校より
おの なおと
大野 直人
教頭



霧島市立国分南
小学校より
わだ りえ
和田 梨恵
先生



始良市立柁城
小学校より
やました しんじ
山下 真司
先生



新規採用
せとやま みずき
瀬戸山 泉生
先生



新規採用
はまだ ゆうか
濱田 優花
先生



鹿児島県立鶴丸
高校より
まえはらいちろう
前原 一陽
先生



志布志市立有明
小学校より
いしざか なおこ
石坂 直子
先生

よろしくお願ひします。

交通教室

4月10日(水)、交通教室を行いました。志布志警察署交通課馬場様、伊崎田駐在所柚木崎様、そして交通安全協会伊崎田分会の3名の方々にご指導していただきました。

1～3年生は、「正しい横断歩道のわたり方」について学習しました。最初は、校内で練習した後、実際に学校前の横断歩道を歩きました。しっかりと話を聞いていたので上手に渡れるようになりました。4～6年生は、「正しい自転車の乗り方」について学習しました。乗車前の自転車の点検の仕方や正しい自転車の乗り方について学習しました。

学習したことをこれからの生活に生かして欲しいとします。くれぐれも交通ルールをしっかりと守って、事故なく安全に過ごしましょう



【横断歩道を渡る1年生】



【熱心に話を聞く4～6年生】

志布志の日

4月24日(水)は「しぶしの日」でした。そこで、志布志や伊崎田のよい所について全校児童みんなが考えました。たくさんのご郷志布志(伊崎田)の良さを見つけることができました。ここでは、6年生の見つけた志布志の良い所を紹介します。

- 井畑 尚さん・・・山城。貿易跡。歴史の町。志布志の町から伝えよう！！
- 大町 航盛さん・・・子供も大人も楽しめるボルベリア遊園地。さあ行こう！
- 岡本 颯真さん・・・西の横綱といわれるそばもうどんもおいしい三十七庵。
- 上室 夏輝さん・・・伊崎田小のみんなが参加する、今年の幸せを願う元旦祭。
- 菅山 こはるさん・・・四月二十九日はお釈迦祭り。お釈迦祭りは、鹿児島三大祭りの一つ。
- 杉本 歩士さん・・・志布志の名物うなぎは、とてもおいしい。
- 立和田 優雅さん・・・昔から伝統ある伊崎田相撲。
- 鶴田 楓芽さん・・・お茶の生産量が多い。しかも美味しい！！みんなで飲もう！！
- 鍋山 宗助さん・・・鹿児島と大阪を行き来するフェリーがとまる港町。
- 成山 小春さん・・・卒業証書として作る伊崎田和紙。
- 西 快理さん・・・志布志のみんなが取り組んでいるSDGs。地球を守ろう！！
- 山中 太聖さん・・・みんなが愛する伊崎田まんじゅう。しかもおいしい！！

乗り入れ授業

今年度から伊崎田小学校では、様々な新しい取組を進めています。チーム担任制や一部教科担任制。午前5時間40分授業。イサキダタイム。中学校との乗り入れ授業等です。どれも先を見通した21世紀にふさわしい伊崎田の学びです。

ここでは、「中学校との乗り入れ授業」について紹介します。小学校の山下教諭(中1英語)と西村教諭(中1～中3の音楽)が中学校で授業を行っています。山下教諭はこれまでの中学校勤務の経験を存分に生かしています。西村講師は、小1～中3までの9年間を見据えた授業を行っています。

一方、中学校から時吉教諭が小学校に来て、6年生に社会科の授業を行っています。中学校の先生に教えてもらう子供達は真剣なまなざしです。熱心に学習に取り組む姿が見られます。このような活動を通して、小学校から中学校へのつなぎがスムーズになるのではないかと考えています。重ねて伊崎田学園として小中連携が一層深まるのではないかと考えています。実は、山下教諭と1年生には、「ドラマ」があります。昨年、山下先生が担任していた子の作文が南日本新聞の若い目に載りました。それを見た、去年の田代先生が子どもたちに激励の寄せ書きを書いて、贈ったのです。その子から返信もいただきました。1年を経ての再会です。ドラマです。



【時吉先生の社会科授業】

昼休み時間

遊びの中で、体力を付けたり、友だち関係を構築したり、小学校や中学校の中で、「遊びの時間」の重要性は、みなさんも経験上とてもよくお分かりかと思えます。私もこの遊びの時間は、子どもたちを学校でお預かりする上で、とても重要視しています。

いわゆる「2時間目の休み時間」もちゃんと15分取っています。10分では、できないことが15分ならできます。子どもの遊びの幅が広がります。上手くいけばブームが沸き起こります。

昼休みの時間は、言うまでもありません。伊崎田小では、委員会活動をしてもらうことがありますが、原則45分の昼休みを子どもに「保証」しています。大人が45分の休憩を取るのと同じで子どもも保証するのは当然です。

雨が降ると、校庭で遊べません。そんなとき私の都合が付けば体育館を開放します。体育館での遊びは、特別感があります。思い思いにバトミントンやバスケットといった外ではなかなかできない遊に熱中する姿はとてもよいものです。そんな雨の日、5・6年生は、ほとんど体育館に来ませんでした。雨が上がった校庭を見ると2年教室前の砂場で熱心に活動しています。「造形遊び」です。みんなで一致団結して遊ぶ姿は、感動ものでした。



【造形遊びをする高学年】

ぼくの目標(始業式の作文より)

ぼくが、6年生でがんばりたいことは3つあります。

一つ目は、最高学年のとして今までの6年生がしてきたように、下学年に優しくすることです。一人でさびしそうな人がいたら笑顔で話しかけたり、困っている人がいたら優しく教えてあげたいです。仲良しグループの遊びもみんなが楽しく遊べるようにルールを工夫し、ぼくがいろいろな人と話して、気軽に話せる楽しいグループにしたいと思っています。

二つ目は、ルールを守ることです。みんなが安全に気持ちよく過ごせるように、廊下は右側を静かに歩いたりトイレのスリッパをそろえたりしたいです。みんながあまりやりたくないことも自分から進んでやれるようになりたいです。

児童代表 6年 西 快理さん

三つ目は、自分の考えを積極的に発表することです。みんなの前で話をするのは恥ずかしくてあまりしたくありませんでした。でも、5年生の終わり頃から大きな声で発表することに挑戦しています。これからも、授業中や委員会活動などの場面で自分の考えを相手の目を見てはっきりと伝えていきたいです。

小学校最後の一年です。自分で考え行動し、いろいろなことに挑戦して、楽しい一年にしていきたいです。